

【小学部 進路のおはなし③】



～「進路の手引き：小学部の進路指導で大切にしたいこと」②編～

前回の学級だよりで、「小学部の進路指導で大切にしたいこと」について、取り上げました。その際、「この部分も伝えたい！」というところがありましたので、今回、お伝えしたいと思います。

お伝えしたいポイントは、2つです。

Point 係やお手伝いは社会の一員として働くスタートになる

学校や家庭で役割を果たすことは、社会参加と自立のための基盤となるものです。誰かのために行動する、誰かの役に立つことは、今後、「働く」ことを考えるときにとても大切になってきます。そのため、はじめは家庭や学級という小さな集団での役割から、学部や学校全体、社会と少しずつ大きな集団への役割へと広がっていけるように、学校でも係活動や児童会活動に取り組んでいきたいと思えます。ぜひご家庭でも、食器を運ぶ、カーテンを開けるなど、できることから始めていただければと思います。

Point まずは地域の福祉機関の場所を確認しましょう！

お住いの地域にどのような福祉に関する関係機関があるのかの情報をすることは大切です。まずは、『進路の手引き』や各市町村が発行しているガイドブック（南相馬市は【就労支援事業所ガイドブック】、相馬市は【就労支援ガイドブック】）をご覧ください。なお、興味関心のある事業所などがありましたら、保護者の方が直接事業所に連絡をして見学することもできますので、よろしくお願いします。

(1) 小学部の進路指導で大切にしたいこと

「身辺処理、人間関係等、この時期の生活を自立的に行えるようにすることが進路指導」と捉え、ていねいに積み上げる。

① 日々の授業では

- (ア) 学校生活に慣れ、見通しをもって生活できるようにする。
- (イ) あいさつ、返事ができるようにする。
- (ウ) 身辺処理能力を高める。
- (エ) 友だちと仲よく遊べる。
- (オ) 日常生活に必要なきまりを守る。
- (カ) 遊びや学習を楽しみ、進んで活動できるようにする。

係やお手伝い等の活動に進んで取り組めるようにする。

② 教職員は

- (ア) 進路指導に関する最新の情報を得る。
- (イ) 中学部・高等部の授業参観や、職員との情報交換を進んで行う。
- (ウ) 福祉制度や手続き等を理解する。

③ 保護者は

- (ア) 日々の学習や生活のすべてが進路につながるという意識をもつ。
- (イ) 規則正しいリズムで家庭生活が送れるように支援する。
- (ウ) 早い段階から事業所等の見学をする。